

書評

看護にいかす
インストラクショナル
デザイン効果的・効率的・魅力的な
研修企画を目指して

- 著 浅香えみ子
- 定価 本体 2800 円＋税
- 発行 医学書院

評者

愛知医科大学医学部シミュレーションセンター講師
急性・重症患者看護専門看護師
川原千香子

臨床の教育担当者の悩みに応える、
研修改善の道しるべ

書店に並んでいたら、きっと手に取りたくなるインパクトのあるオレンジ色の本です。この色にも著者の教育への熱意と研修企画者、受講者への温かさが表れていると思います。

何をポイントに企画を準備し、評価すると効果的な研修が行えるか

さて、インストラクショナル・デザイン（以下、ID）とは、「教授設計」のことですが、ここ 10 年くらいの間に注目されるようになったのではないのでしょうか。その主たる要因は、医療安全に着目した能動的な教育（シミュレーションをはじめとするアクティブラーニング）の広がりや、実践者育成のための研修をどうやって組み立てるとよいか、効果をどのように測ればよいか、といった臨床の教育担当者のさまざまな悩みによるものだと思います。評者自身、臨床で専任教育担当者として悩み、何か解決策はないかと思っていたときに ID に出会い、学んだことが思い出されます。

本書は、そのような研修を企画する医療従事者の悩みに対して、とても分かりやすく解説されています。ただ、著者も述べていますが、この書籍は、決して ID の解説書ではありません。何をポイントに企画を準備し、どのような評価をするか効果的な研修が行えるかが学べる、特に臨床の指導者や研修企画者にとっての道しるべとなる書籍です。

一方的に企画者が考えた学習目標で研修を実施するのではなく、どのような対象者に何ができるようになってほしいのかをしっかりと考えて企画し、その効果をどのように測定するかまでを考えることができるようになります。そして、企画者も企画を振り返り、改善のポイントを整理することができるようになると思います。

臨床指導、研修の企画の際に本書を手にとっていただけると、研修を受ける人

のみならず、企画者にも実りの多い指導、研修が実践されると思います。

ID を正しく理解し、活用するために

近年、医療者教育関連の報告や研究に、「ID を用いた〇〇」というタイトルが増えています。これは、ID を用いて研修を企画した結果、以前に比べて、教育効果を測定できるようになった、より効果的な研修を企画できたなどの、よい結果を紹介するものだと思います。

では、ID がこのように取り上げられる前は、何を道しるべにしていたのでしょうか。看護教員養成課程など、従来から教育に関しては、企画に必要な「指導案」「授業案」などがありました。「学習者観」「教材観」などのアセスメントも含まれています。しかし、従来の指導案の考え方は、基礎教育を対象にしたものが中心で、成人教育に基づくさまざまな臨床での教育ニーズに対応するためには、工夫が必要でした。また、私たち医療者は、プリセプターシップが導入される以前から、先輩が後輩を指導する「教育」の能力を求められていたにもかかわらず、教員を志す人以外は、特に系統立てた「教育」を学ぶ機会が少なかったと思います。

今回取り上げられている ID は、従来の授業案の内容を、より具体的に整理し、学習者のニーズ分析から、教育内容、方法、評価、再構築までの工程を、ロジスティックに示したものであり、分かりやすく、活用しやすいものだといえます。本書は、臨床の医療者にとって、教育研修を企画する上で、ID の考え方に則ることによって、より効果的な研修が行えることを示しています。ID とは、「教授設計」の方法論であり、単独の魔法の道具ではないとご理解の上、読んでいただくことをお勧めしたいと思います。